

職務経歴書

日付: XX年XX月XX日

名前: 佐藤 扶穂

【職務要約】

高専の電気電子工学科を卒業後、不二製油株式会社に入社し1ヶ月間の新入社員研修を経てチョコレート製造工場でのオペレーション業務を行う部署に配属されました。配属後は、工場で食品製造のオペレーションや生産計画・段取りや工場設備の管理保全などを行っておりました。

4年目からは、最年少での班長兼新入社員教育担当として上長不在時間の夜間・休日における部下・派遣社員の管理等マネジメント業務や、新入社員のOJTを担当しました。5、6年目は上記に加え、TPM活動(集団改善活動)リーダーに着任し、生産効率や稼働率・歩留まり・設備改善業務の中心となって指揮をとっておりました。班長やTPMリーダー等のマネジメント業務や新製品の製造などでお客様や開発部と接する機会が増えるにつれて、自らも企画や開発する側になりたいという思いが強くなっていきました。また、エンジニアとして企画・開発する事で自らの案やスキルを商品に反映出来るといった点や、身に付けたスキルを仕事内・外問わず、汎用性が高く自らの生活自体にも汎用出来るような技術を扱う事が出来るといった点に強く魅力を感じて明確にエンジニアを志すようになり、2021年12月に退職致しました。現在はプログラミングスクールのDMM WEBCAMPに通学中です。

【職務経歴】

■2015年4月～2021年12月

■ 不二製油株式会社 / 正社員 事業内容: 食品製造 / 年収560万円

- ◆事業内容: 食品製造
- ◆従業員数: 1157名
- ◆資本金: 5億円
- ◆売上高: 3647億7900万円(2021年3月期)

【職務内容】

- ・チョコレートの製造・充填
- ・製造計画・段取り・出荷
- ・工場設備保全
- ・工場運営のマネジメント
- ・製造改善活動業務

【業務実績】

◆データ分析による不良品削減

現場配属直後、現場最大の課題となるのが製品のクレーム・規格外品であり、当時その中で最も多い事例が粒度アウトであると教育されました。当時新入社員であった私は、その事例が起こる原因を分析し、その背景として原料や室温によって作業書通りに機器を設定すると粒度が定まらない事が有る為、作業者は各々が自らの経験で設定値を定めている事や、それにより季節によって設定値の上下には傾向がある事を見出しました。また、工場全体の業務に目を向けると派遣社員さんが日々の作業記録をエクセル入力しているが、これら記録はトレース時為の管理保管のみが目的になっていることに着目しました。作業改善と作業の無理無駄削減の観点から、作業記録より前月作業記録の平均値を算出し、この値を作業書に反映させることで設定値を最新の傾向に基づいた値とし、季節毎の変化に対応出来る数値とする事で粒度の安定化に成功しました。これによって、月に一度程あった規格外を半年に2、3度程度へと削減する事が出来ました。

◆原料室リニューアルによる作業改善及び製造歩留まり向上

工場では様々な原料をそれぞれ指定の環境下で保管しておりますが、加熱・冷却など保管場所がバラバラで移動における作業効率が悪いという問題があり、さらに特定の原料を使用した製品で歩留まりが悪くなるという問題が有りました。これらを受け、まず歩留まりが悪いのは、要加熱原料を使用した製品である事から異常の原因は大容量での保管＋移動時間による「加熱不足」であると予測しました。以上より、使用頻度の多い物や直近で使用予定がある物を一か所に保管できるよう原料室を製図しレイアウトを一新、最も使い勝手の良い作業室に冷凍・冷蔵庫、加熱箱を導入することで原料をより製造に適した温度保管で保管出来る様になりました。また、移動時間による作業ロスも改善され、歩留まりも一製品6時間程掛かっていたものが2時間で充填可能となり歩留まり及び製造時間も大幅に向上されました。

◆班長・TPMリーダー・教育担当実績

上記をはじめとした改善活動等が評価され、4年目からは班長に着任し夜間や休日のトラブル対応や、各製造業務の指揮、マネジメント業務を担当しました。また、5、6年目はTPM活動(集団改善活動)リーダー、新入社員教育担当としてTPM活動の指揮、新入社員や派遣社員の教育を行っておりました。部下や後輩を教育・管理する立場になる事で、当時地方工場の中で様々な立場の人を纏める必要があった為、組織としてのコミュニケーションや教育の仕方を学ぶことが出来ました。特に、下請け業者さんへの仕事の発注の仕方一つでも相手のパフォーマンスが変わったり、上司への報告の仕方、また部下への伝え方や教育方法を試行錯誤して日々過ごすことで組織で仕事を円滑に進める為の人との接し方について学ぶ事が出来、新入社員・中途社員等の独り立ち、また教育した若手社員との班でクレーム0などを達成する事が出来ました。

【業務についての強み】

- ・業務への改善意識

- ・作業効率への意識
- ・作業の正確性
- ・身心のタフネス

■2022年2月～現在 株式会社インフラトップ DMM WEBCAMP受講 ※別紙「スキルシート」参照

【エンジニアになりたい理由】

以下の4点からエンジニアの「成長し続け、それを仕事や商品に反映出来る」という点に魅力を感じ、エンジニアになりたいと思いました。

①企画・開発に携わることが出来る、プロセスを学べる

前職では「ものづくり」に対して、お客様や開発部からの製造指示書を基に製造するという立場で関わっており、「全国で流通している物を作っている」「世界のチョコレート業界の中核で仕事出来る」という点にやりがいを感じ仕事では自らの考えを発揮出来る箇所として作業や設備改善業務、仕事の効率化などを意識して取り組んでおりました。班長になりマネジメント業務に携わったり、新製品の打ち合わせで開発部やお客様と接する機会が増えるにつれて自らの案やお客様の声から製品を企画・開発したい、また商品の企画立ち上げから世に出るまでの様々な業務に携わりたいという思いが強くなっていきました。エンジニアになることで自らの知識を広め続け、様々な業務に携わり成長しながら今度は開発者として世に商品を出せると考えエンジニアになりたいと思いました。

②新しい物に触れられる・刺激を得続けられる

元々、挑戦したり新しい事、物に触れるのが好きで私生活でもスケート、水泳、ウエイトトレーニング、キックボクシングなど様々な事に挑戦したり、スマホやガジェットなど新情報をチェックするのを楽しみにしてきていました。前職では、一つの事を極めて行くという職人的な部分があり私自身そういった部分にもやりがいを感じておりましたが、エンジニアになることで日々新しい物が出る世界で自らの知識を広め続けそれを仕事に活かせるといった所に魅力を感じ、エンジニアを目指そうと思いました。

③自らのスキルを商品に反映できる

前職では、製造業であった為「誰がやっても同じ物が出来るやり方」、設備、環境を作っていくのがモットーでした。私自身が物事に対して色々と考え、行動していくのが好きな為工場では自分の案を反映できる事として、入社直後からデータ分析による精度改善をはじめ、製造機器であるプレートやベルトコンベアの仕様変更による処理量向上及び歩留まり向上に貢献いたしました。また、製品の粘度に影響を与え当時製造ライン固化などの問題があった原料に対しては、開発部に提案し原料投入のタイミングを分割させ、製造ラインに影響のない箇所では製品に加える事でトラブル削減などの改善活動に力を入れてきました。工場ではその現場のみのスキルが大半でしたが、エンジニアになる事で自らをスキルアップし、そのスキルを使ってお客様の要求に応えていく、商品を生み出していくといった事が出来ると考えエンジニアを志しました。

④成長し続けられる(幅が広い)

元々、物事を学んだり自らのスキルを磨き成長することが好きな為、私生活でも格闘技や筋トレなどに挑戦し仕事でも製造業として可能な事として改善活動などに取り組んでおりました。前職での改善活動をしていく事で、日々新しいことが出てくる世界で学び続ける事で成長し続け、日々成長しながらそれを仕事として成果を出す事が出来る仕事がしたいと感じるようになりました。更に、ITに関する知識は知れば知る程自分の知識の幅を広げる手段も広がり指数関数的な成長の幅が有るうえ、それを仕事だけでなく日常でも活用することの出来る点が、とても魅力を感じエンジニアを志すようになりました。

【自己PR】

<性格面>

①効率と改善への意識

前職は決められた手順をこなすといった職種であった為、自身の能力で大きく差を出せるのは改善活動や、仕事の無駄削減や効率化といった部分でした。日々いかに効率よく出来るか、改善点はないか、といった事を意識して仕事をしておりました。前職ではそれらの成果を評価して頂き班長やTPM活動リーダーとして集団での改善活動の指揮などを経験した為、改善や効率への意識・視点が身につきました。

エンジニアは、効率・改善といった事での成果の幅がより大きい仕事であると考えておりますので上記の事が活かせると考えております。

②集団での働き方意識

前職で作業者をまとめ、工場のトップに報告する班のリーダーや、TPM活動リーダー、新入社員教育担当としてチームや部下を率いておりました。また上司や他部署とどう接していけば円滑に仕事を運べるかといった組織としての働き方、人との接し方といった事を意識して働くことでマネジメント部分でのコミュニケーションを学べました。

工場では、他部署・地方・本社からの出向・派遣・多会社共同請け負い会社社員など様々な立場の人が入れ替わりで働いており、立場が上がるにつれて自らの行動一つで仕事が円滑に進むかどうかや、上司と部下の関係、物事の方向性などが大きく変わる場面を多く経験しました。これより、集団での仕事の仕方や様々な立場での振る舞いを学んだ事で、エンジニアでも様々な人

や部署、お客様や他者様と関わる機会があると思うため上記で学んだ事を活かしより成長しながら仕事を円滑に進めて行けると考えております。

③タフネス

身心の強さと忠義性に自信が有ります。身体面・健康面では中学から社会人生活に至るまで皆勤賞で前職では3交替で夜勤も経験しております。メンタル面でもキックボクシングで培ったいかなる苦境にも負けないといった鋼のメンタルを持ち合わせております。未経験からの転職になる為自身のスキルを向上させるためであったり、その他の業務で少しでも貢献出来るよう努力や労力に関して圧倒的タフネスで貢献致します。

<技術面>

①精度

前職が食品を取り扱っており、お客様の直前工程も担当した経験もある為その際ミスや問い合わせ、クレーム等を起こさなかったなど作業の正確性や、少しでも違和感があれば確認するなど精度を大切にしております。プログラミングでも些細なスペルミスやリーダブルコードを意識する事で他者への認知のし易さやトレースのしやすさなどを意識して学んでおり、仕事でもこれらをよりレベルアップさせ発揮出来ると考えております。

②様々な分野への関心

IT業界全体に興味があり、最終的にはフルスタックエンジニアとして活躍できるような幅広く、開発やコーダー業務以外でも営業、経理事務関係、マネジメント業務や様々な言語などジャンルを問わない求心力があります。現在もメインで学んでいるのはRuby on Railsですが、progate等で多言語を学んだりしており就職後もどのような業務でもいち早く戦力になれるようスキルアップしてまいります。

【今後の目標】

①現場での実用性を意識する

現在はプログラミングの基礎を学んでおりますが、今後はエンジニアとして働く際に使えるか？といった実用的なスキルとして知識をインプットしていく事を心掛けております。また、チーム開発時に学んだチームとしてのGithubの使用法において、エンジニアとしての基礎を身に付けることで今後の成長速度が大きく変わると痛感した為、今後はAWSなど業務で使用する上での基礎を学び、成長する上での効率を上げてエンジニアとしての知識を向上させてまいります。

②アウトプットする力を付ける

現在は基礎を学ぶ事がメインになっておりますが、アウトプットする事で知識を整理・実装能力を高めるといった事をしていこうと思っております。チーム開発時に自身が実装した物を説明するといった事が必要になった際に自身の製作物をアウトプットしていくと今までに比べて理解度が深くなったことから、日頃より自分のしたことは説明出来ることを想定しながら学習する様に心掛けるようになりました。今後は纏めを作ったりそれらを記事としてあげるなどしてより製作力とアウトプット力を磨き、質の高い知識を身に付け成長して行きたいと考えております。

③動的機能やAPI等機能

現在はRuby on Railsの基礎機能を中心に勉強しておりますが、実際に世に出回っているアプリケーションを見ると動的機能であったり外部機能を使っているものが殆どである為、まずは、Qiitaの記事などを参考にAPIの実装について触れ、Udemyの「【JavaScript&CSS】ガチで学びたい人のためのWEB開発徹底実践(フロントエンド編)」でJavaScriptを学んだりサーバーサイドの知識としてUdemyでJavaの勉強をして機能面のスキルを向上させて参ります。